

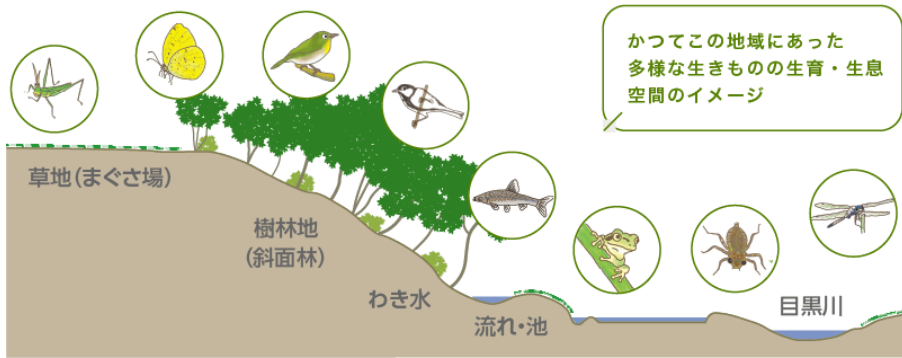
今回、「令和5年度 自然共生サイト（後期）」認定にあたり、以下の点を評価いただきました。

●評価されたポイント

- ・首都高速の換気所屋上という特殊な場所で、生態系に配慮しながら緑地空間を創出している。
- ・地域の小学生を招いた稲作体験の実施などの環境教育の取り組みにより地域社会へも貢献している。
- ・都市部にありながら貴重な緑を供給し、周辺の菅刈公園や西郷山公園の他、駒場公園や代々木公園等の緑をつなぐエコロジカル・ネットワークを形成しており都市緑化の優良モデルとなっている。
- ・適正な維持管理を継続し環境価値の更なる充実及び取り組みが周囲に波及することが期待される。

●評価された取り組みの詳細

- ・大橋ジャンクション内のトンネル換気所屋上という特殊な道路空間を活用し、換気所の勾配を昭和初期の目黒川の河岸段丘に見立て、斜面林、草地、湧水とせせらぎ、池、水田を設置している。



- ・近隣小学校と稲作体験を通じた自然学習や農体験、食育の場として活用している。
- ・稲作体験には社員も参加し、地域社会との共生を図っている。ほかにも、目黒区の教育委員会とも連携し、おおはし里の杜を活用して生き物や植物を知ってもらう講座の講師も行っている。



【地域小学生による稲作体験】



【区教育委員会と連携した講座の開催】

- ・2021年以降、オオタカの飛来を確認しており（2022年実績：60回程度）、採餌の場として利用している。捕らえた獲物を頻繁にサイト外に持出し、周辺の繁殖地で幼鳥に給餌していると想定される。

これは、おおはし里の杜が目黒川周辺のエコロジカル・ネットワークの一部としての機能を果たしている結果だと考えられる。



【オオタカ林床利用】



【エコロジカル・ネットワーク】